

令和3年3月18日会議概要

第1 日時

令和3年3月18日（木）午前9時30分から午後0時15分までの間

第2 出席者

平林委員長、渡部委員、長谷委員、森委員、森田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、京都市警察部長、情報通信部長、首席監察官等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 警察本部報告

(1) 令和2年度会計監査の実施結果について

総務部長から、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に、京都府警察の全所属を対象として実施した、会計監査の結果等について報告があった。

委員から、「物品と簿冊の突合確認が非常に大事だと思われるので、引き続き適切な監査をお願いしたい。」旨の発言があった。

(2) 損害賠償請求事件の発生及び応訴について

警務部長から、令和3年2月15日、京都府を被告として、京都地方裁判所に損害賠償請求事件の訴状が提出されたことから、応訴する旨の報告があった。

(3) 特定商取引に関する法律違反被疑事件の検挙について

生活安全部長から、生活保安課と八幡警察署等は、消費者庁と連携し、平成31年1月から令和2年3月までの間、3回にわたり、住宅リフォーム会社従業員が、顧客を勧誘した際の音声データが不存在である旨の書面を作成提出するなど、消費者庁による報告徴収に対し、虚偽の報告を行ったとして、令和3年3月11日、同社を総括管理する男2人を特定商取引に関する法律違反で検挙したことについて報告があった。

委員から、「いろいろ苦労があったと思われるが、検挙したことによって、社会的影響は大きいと思われる。」旨の発言があった。

(4) 令和3年2月末の特殊詐欺情勢について（暫定値）

刑事部長から、令和3年2月末現在の特殊詐欺等の被害認知状況や検挙状況、水際阻止事例等について報告があった。

委員から、「ATMの引き出し限度額を上げたうえで、被害に遭われた方もいると伺ったが、限度額の引き上げは、窓口でしかできないので、阻止するために金融機関と連携してもらいたい。」旨の発言があった。

他の委員から、「阻止事例では、携帯電話にメールがあったとあるが、被害の多くは固定電話から携帯電話に変わりつつあるのか。」旨の質問があり、刑事部長から、「特殊詐欺全体では、実際に被害が出るのは固定電話が大半を占めている。」旨、本部長から、「特殊詐欺の形態の違いにより、固定電話であったり、携帯電話であったりするものである。」旨の回答があった。

他の委員から、「引き続き、金融機関等と連携して地道な被害防止活動に努められたい。」旨の発言があった。

(5) 自動車の高さ制限に係る京都府道路交通規則の一部改正について

交通部長から、自動車の高さ制限に係る京都府道路交通規則に関して、高さ指定道路の路線名及び区間を一部改正し、令和3年4月1日から施行予定であることについて説明があり、審議の上、決定した。

(6) 初任科第 256期（短期過程）卒業式の実施について

警察学校長から、令和3年3月26日、初任科第 256期卒業式の実施概要、参加者、入校中の教養状況等について報告があった。

委員から、「今回卒業する過程では途中退職する者が多かったが、コロナ禍に伴う学校生活の制約等の影響があったのか。」旨の質問があり、警察学校長から、「入校後間もなく退職した者もあり、コロナ対策に伴う制約の影響はないと思われる。」旨、本部長から、「個々の退職の原因はそれぞれもったもなもので、学校側の対応に問題は認められない。結果として高い辞職率になってしまった理由は判然としないが、入校初日から、一人前の警察官としての体力・規律を求めていることは、影響しているかもしれない。」旨の回答があった。また、警務部長から、「警察官には、一定の現場執行力は必要不可欠である。採用時に体力の及ばない者をスクリーニングできるように人事委員会と話し合い、体力試験のハードルを上げることも検討している。」旨の発言があった。

他の委員から、「退職者が多数出るということは、改善点もいろいろあると思われるので、しっかり検証してもらいたい。」旨の発言があった。

他の委員から、「採用が決まり、入校するまでの期間の自主研修スケジュールみたいなものはあるのか。」旨の質問があり、警察学校長から、「内定者には、採用係から、入校後の具体的な訓練内容について案内を出している。また、昨年はコロナ禍でできなかったが、内定者説明会の時には、訓練内容を見学してもらっている。」旨の回答があった。

(7) 令和2年度の監察実施・受監結果について

首席監察官から、令和2年度中に実施した監察結果及び警察庁・近畿管区警察局による受監結果について報告があった。

委員から、「コロナ禍により監察のやり方も考えなければならない状況にあるが、しっかりと対応していただきたい。また、一部の所属が実施していた良好な取組について、制度として取り入れるべきものは取り入れるよう願いたい。」旨の発言があった。

(8) 追加報告

広域空き巣グループの検挙等について

刑事部長から、捜査第三課及び亀岡警察署等は、会社組織を立ち上げて、全国38都府県で、211件もの空き巣事件を繰り返す、被害総額約1億5,140万円相当の被害を与えていたグループの男15人を検挙・追送検したことについて報告があった。

委員から、「捜査員の方は、大変ご苦労があったと思う。」旨の発言があった。

(9) 監察案件1件

首席監察官から、監察事案1件について報告があった。

(10) 本部長総括報告

本部長から、「現体制での定例会は、本日で最後になる。今年度は定例会の運営方法等の変更があったが、適切な管理をいただくため、各部長にも力を尽くしてもらった。次回から新メンバーとなるが、引き続き、御指導願いたい。」旨の発言があった。

2 個別報告

当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

3 決裁

(1) 公安委員会宛て苦情等申出について（受理2件・処理2件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛ての苦情等申出に関して、受理2件の報告があり、処理方針を決定した。また、処理2件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

(2) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について

監察官室訟務官から、運転免許の更新処分を受けた者（1件1人）より、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の趣旨、理由、原処分の内容等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。

(3) 交番等の所属、名称、位置及び所管区等に関する規則の一部改正について

地域課企画担当補佐から、福知山警察署の上夜久野駐在所の新築移転に伴い、交番等の所属、名称、位置及び所管区等に関する規則を一部改正することについて説明があり、審議の上、決定した。

4 聴聞

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、14件の行政処分を決定した。